

# 衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 22.3.19 第 174 回国会第 10 号

3月19日(金) 第10回の委員会が開かれました。

## 1 雇用保険法等の一部を改正する法律案(内閣提出第8号)

- ・長妻厚生労働大臣、細川厚生労働副大臣、泉内閣府大臣政務官、山井厚生労働大臣政務官、足立厚生労働大臣政務官、高橋経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

### 加藤 勝 信君(自民)

- ・児童養護施設の措置入所児童については当該施設に対し子ども手当相当額が安心こども基金から支給される一方で、措置入所でない児童については、原則子ども手当は親に支給されることから、児童の入所の態様によって処遇に格差が生ずるのではないか。
- ・購入契約済みだがまだ納品されていない輸入ワクチンの契約解消に係る交渉実態について伺いたい。
- ・給与の減少額や経済見通しが低迷している中で、雇用保険の料率引上げ等によって国民に負担増を強いることについて厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・かつて年金保険料については年金給付以外に流用を認めないとの立場をとっていたにもかかわらず、雇用保険料については事務費等に流用を認めてしまうことについて厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・民主党マニフェストにおいては「全ての労働者を雇用保険の被保険者とする」としているにもかかわらず、本法律案では週所定労働時間が20時間未満の者等に雇用保険が適用されない理由について伺いたい。

### 松浪 健 太君(自民)

- ・日本国民のモラルについてどう考えるか。また、労働保険の加入をお願いする立場の大臣や与党幹部の中に自身の事務所職員を労働保険に加入させていなかった者がいることについて本会議で質問をしたにもかかわらず、誠実な答弁がないことに対して、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・失業等給付に関する不正受給について、把握している実例や件数及びそれに対してどのような対策を講じているのか伺いたい。
- ・年金積立金の運用についての厚生労働大臣の基本的考え方を伺いたい。また、「年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運営の在り方検討会」に、GPIFの運用委員会の委員2名が入っているが、これでチェック機能を果たせるのか。

### 坂口 力君(公明)

- ・日本でも過去のアメリカでのジョブレス・リカバリー(雇用なき景気回復)と同様の状況が懸念されるが、細川厚生労働副大臣の見解を伺いたい。また、そうならないための方策が必要と考えるが厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・平成22年度の雇用調整助成金の予算額は平成21年度よりも増額されている。これは平成22年度の経済回復は難しいことを前提にしていると考えられるが、細川厚生労働副大臣及び高橋経済産業大臣政務官の見解を伺いたい。
- ・雇用保険の適用範囲を拡大するだけでなく、受給資格要件も緩和しなければ、セーフティネットとしての役割を果たすことにはならないのではないか。

### 高橋 千鶴子君(共産)

- ・B型肝炎訴訟に係る3月12日の札幌地裁での和解勧告を踏まえ、国は早期に和解協議に応じるべきではないか。
- ・雇用保険二事業は重要であると考えているところであるが、事業内容の見直しが指摘されている。今後の雇用保険二事業の在り方についての厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・地域職業訓練センター及びコンピュータ・カレッジの一方的な厚生労働大臣の廃止決定について、利用目標を達成している施設等の廃止は取り消すべきではないか。また、厳しい地域の雇用失業情勢を踏まえ、こうした施設を活用して職業訓練を強化すべきではないか。

### 柿澤 未 途君(みんな)

- ・政府は、公務員へ労働基本権を付与する法律案を2011年の通常国会に提出する方針なのか。
- ・公務員へ労働基本権を付与するに当たっては、公務員を雇用保険へ適用すべきではないか。また、その場合には雇用保険料の事業主負担分として多額の公費負担が必要

になるが、公務員の人件費削減を掲げる中でこれをどう考えるか。

・これまで雇用・能力開発機構が多くのハコモノを設置す

るなど無駄づかいが行われてきたことを踏まえ、雇用保険二事業の財源は、ハコモノの設置に使用しないということを明言すべきではないか。